

光善寺駅前で中世の「中振町」遺跡発見

11 月 1 日(土)午後 1 時～3 時に現地説明会

◎チラシ・写真あり

今年 8 月 8 日から光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業に伴い発掘調査を実施している中振北遺跡で、平安時代後期～室町時代頃にかけてと推定される建物柱穴・井戸が密集した中世の「中振町」の一面を発見した。この町は、後の河内街道と、そこから西の淀川へと延びる東西街道沿いに発展したものとみられる。共通の方位で整備された町の様子から、鎌倉時代初期に当地を治めていた後鳥羽上皇の側近・藤原秀康といった武士らの地域支配との関与も想定される。戦国時代には、この街道町の都市的发展に注目した浄土真宗の蓮如が町の北西側に山城方向への布教の足掛かりとして出口御坊（後の光善寺）を建立したと考えられる。今回の調査成果は、当地が中世に街道町として発展してきたこと示す重要な発見となった。この成果を公表するため 11 月 1 日（土）午後 1 時～3 時に現地説明会を開催する。

★ **中振北遺跡** 市城南西部、枚方丘陵西麓裾部に広がる淀川低地に立地。遺跡東部に河内街道（現枚方市と八尾市を結ぶ）が南北方向に通り、そこから西の光善寺・淀川方面へ東西街道が延びる。令和元年度に京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業に先立つ発掘調査により指定。その後、光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業を中心に今回で 8 次となる調査を実施。現在、南北 430m×東西 300m に広がる古墳～近世の集落遺跡となる。奈良時代には宅地となり、平安時代後期～室町時代初め頃には溝で方形に区画された内部に建物が建ち並ぶ本格的な町が整備された。この頃に、武家屋敷や城下町などに例がある井戸と地下貯水槽を暗渠（あんきょ、竹筒）で結んだ浄水施設が造られるなど、この町に有力者（当時の武士ら）の邸宅が想定される。

★ **当地の歴史** 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇方の有力武士・藤原秀康が支配していたが、承久の乱（1221 年）で敗北後、鎌倉御家人・土屋氏の支配へと変わる。14 世紀の南北朝の動乱期に登場する「中振郷」も土屋氏の領地とみられる。明德の乱（1392 年）で土屋氏が失墜し、石清水八幡宮の支配を経て、1475 年に中振郷出口村に浄土真宗本願寺派の蓮如が拠点を移し、出口御坊（後の光善寺）を建て畿内布教の足掛かりとした。これが現在の駅名の由来ともなる。今回の発掘調査成果からは、当地が光善寺建立以前から都市として発展を遂げてきたことが分かる。

★ **今回の発掘調査** 光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業の公共施設工事（駅前交通広場など）に先立ち令和7年8月8日から着手（これまで2度の本発掘調査を実施。①1街区（※）調査：令和4年9月28日～同年11月11日・約260㎡、②2街区（※）調査：令和5年12月18日～令和6年6月11日・約670㎡）。今回の調査は、工事予定地北部1カ所で実施（約370㎡）。平安時代後期～室町時代頃にかけての建物柱穴・井戸・区画溝などが多数見つかる。調査区の東部で見つかった南北方向に延びる区画溝は、幅約2m・深さ80cm・総延長17.6mで、調査区外の南側へと続く。宅地を区画する主要な溝で、その西側には井戸や建物柱穴がそれぞれ複数重なっている様子が認められる。この様子は、人口が濃密化した町へと発展していたことを物語る。室町時代（14～15世紀頃）には、町が淀川方面へとさらに広がり、当時の都市である堺と京都、大和などの中継地的な街道町として発展していたものとみられる。

★ 現地説明会は11月1日（土）午後1時～3時に光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業地（北中振3）で開催する。現地説明会会場には、京阪本線「光善寺駅」から北西へ徒歩1分（調査地北側が出入口）。申し込み不要で当日直接会場へ（車・バイク・自転車などでの来場は不可）。無料。上記時間内で自由に見学可（立入禁止区域を除く）。職員による説明は2回（午後1時・2時）。当日の問い合わせは市文化財課（携帯電話：070-1777-7090）へ。

<お問い合わせ>

観光にぎわい部文化財課

☎：072-848-7712 FAX：072-848-7712（文化財課山田分室）

メールアドレス：bunkazai@city.hirakata.osaka.jp

中振北遺跡の発掘調査現地説明会を開催します

平素より、本市の埋蔵文化財保護行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。この度、光善寺駅西地区市街地再開発事業に伴い実施している下記対象地の中振北遺跡の発掘調査成果について、現地説明会を開催します。

今回の調査では、平安時代後期から室町時代頃にかけてと推定される建物柱穴・井戸、大規模な区画溝などを発見しました。これらは、これまで当該開発事業と共に進めてきた調査で明らかとなってきた中世に発展した街道町の一面とみられます。現地で遺跡を見学できる機会となりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

説明会概要

- ◆調査場所：枚方市北中振三丁目
- ◆日時：令和7年11月1日（土） 午後1時～3時（雨天決行）
- ◆内容：発掘調査成果の見学（自由参加）、説明（午後1時～、午後2時～）

※上記時間内であればいつお越しいただいても結構です。

※職員による説明を2回行います（午後1時～、午後2時～）。開始時刻に合わせてお越しください。

※説明会場は、立ち入り禁止箇所を除き自由に見学いただけます。

※調査地に駐車場等がありませんので、車・自転車・バイクでのご来場はお控えください。

- ◆お問合せ先：枚方市観光にぎわい部文化財課（担当者：松野・井戸）

※電話・FAX：072-848-7712（文化財課山田分室）

※当日連絡先：070-1777-7090（文化財課携帯電話）

